

## 『大阪防衛部隊配備要図』

昭和 3 年 宮下氏良（第四師団司令部指定販売人） 和楽路屋（印刷） 61 cm×44 cm  
関西大学図書館蔵

本地図については、『大阪春秋』第 163 号（平成 28 年夏号）、特集「軍都おおさか—71 年目の戦争遺跡—」（2016 年 7 月）の付録があり、同誌 77 ページに解説がある。詳細は、解説を参照していただきたい。裏面が関西圏の「防空監視隊配備要図」である。兵庫、大阪、和歌山、奈良、滋賀、三重、京都が範囲となっている。裏面地図には主要都市ばかりではなく、神社仏閣、皇陵、山なども記載され、観光地図風になっているのも目を引く。

「大阪防衛司令部監修御認可」、「昭和三年七月四日ヨリ八日ニ至ル」と記載がある。『大阪春秋』誌の解説によれば、「本地図は、おそらく昭和三年の大阪防空演習に際して作成されたものと考えられるが、詳細は不明である。価格の表記はなく、袋入りであったかどうか分からない。」本学図書館蔵の地図には袋は添えられていない。

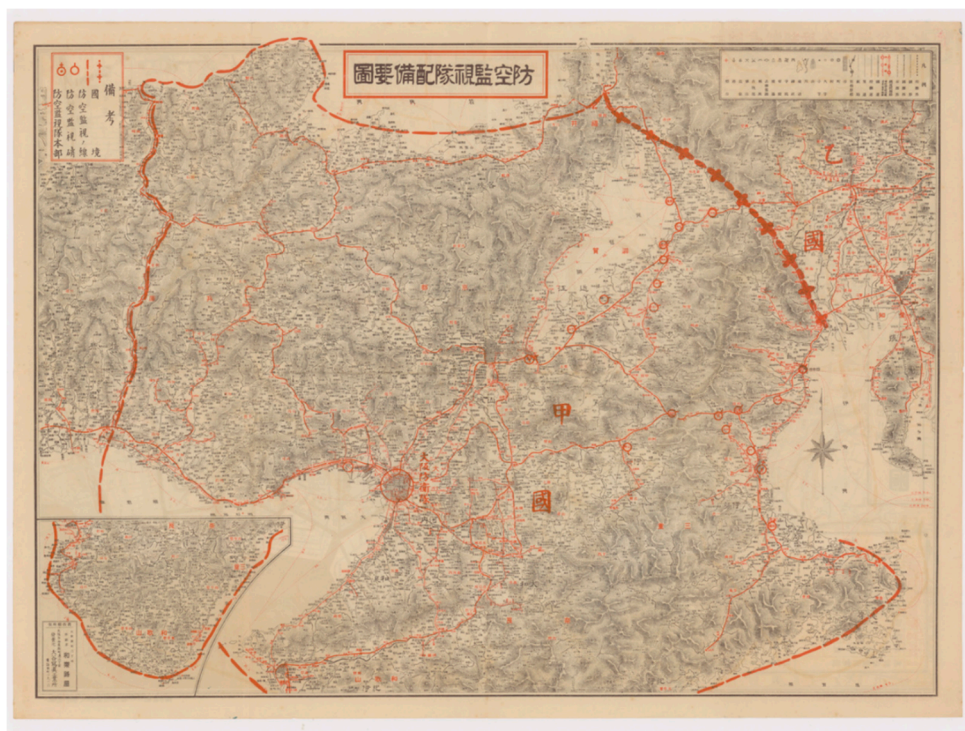
高射砲、照明灯、電話線などが記載される。軍事機密であるから、地図上に記しても問題のない位置を選んでいると思われる。配置位置は、大阪市内に集中しており、周辺地域には記載がほとんどない。それだけ家屋が密集していなかったということであろうが、やはり意図的に不完全な情報を掲載している可能性は高い。当時の大阪の防空演習に関する史料は極めて少なく、『大阪春秋』ではこの地図を「しごく貴重な史料であると言えるであろう」と指摘している。発行人の宮下氏良（「良」は「郎」の略字であろう）に関しては不詳。

この地図には、防衛地図としての興味以外に、一点興味を引かれる地名がある。天下茶屋の東方の「遊園地」だ。「天下茶屋遊園」、「聖天山遊園」とも称された住宅街で、「遊園地」または「遊園」とされるが、USJ のような「遊園地」ではなく、庭園の整備された住宅街であった。現在の松虫通から南側、ジョイアコルテというマンションがあるあたりに「鯨池」という池があり、その西側は桜並木の崖もあったらしい。この「遊園」の区画は、デジタル地図『大阪南部精図』、『天王寺村区画図』で確認できる。この遊園（地）の詳細は不明。明治 28 年頃、地元で「和散中」なる薬を製造販売していた薬商橋本尚四郎らが開発し、分譲が始まったらしい。大正 3 年 9 月 5 日から一年間、稀代のジャーナリスト宮武外骨が「天王寺村 1339」に暮らした。上町台地の延長線上にこの遊園（地）が位置していることも、この地図からよくわかる。

また、現在の阿倍野地域が比較的詳しく書かれている点も興味を引く。四天王寺女学校（現在の四天王寺高校）、明浄女学校、大谷女学校など、私学の女学校が記載されているが、公立学校がほとんど記載されていない。



・大阪市内船場から大阪城



・裏面